

【大学間協定留学】留学報告書

記入日	2026 年 1 月 13 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部政治学科
留学(渡航)した時の学年	2 年生
帰国年月日	2025 年 12 月 1 日
明治大学卒業予定年月	2027 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	オーストラリア
留学先大学	(日本語名) シドニー工科大学 (現地言語名) University of Technology Sydney
現地使用言語/授業使用言語	英語
留学期間	2025 年 2 月～2025 年 12 月
留学先大学で在籍した学年	3 年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 2 月～ 5 月 2 学期: 8 月～11 月 3 学期: 4 学期:
学生数	約 29,729 人
創立年	1988 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (AUD) (1 現地通貨 = 105 円)	B 日本円	備考
授業料	0	円	交換留学のためなし
宿舍費	20,400	円	
食費	2000	円	私は結構たくさん外食をしてしまったので、もう少し自炊をすればもっと安くなります
図書費	0	円	
学用品費	0	円	
携帯・インターネット費		4万5000円	
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
旅費(留学中)	250	円	
被服費	150	円	
医療費	0	円	
保険費	623	約8万円	形態: OSHC と明治大学の保険(どちらも必須でした)
渡航旅費		27万円	
ビザ申請費	1600	円	
雑費	2500	円	日用品、交際費など
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨および円	27,523AUD (= 2,916,433円)	39万5000円 円	
総計(A+B) ※円		331万1433円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路出発地：羽田空港 目的地：シドニー 経由地：

復路出発地：シドニー 目的地：成田空港 経由地：香港

渡航費用

1 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

2 片道ずつチケットを購入した場合

往路航空会社：JAL 料金：

復路航空会社：Hong Kong Airlines 料金： ∴合計約 27 万円

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名：)

☒ インターネット(トリップドットコム)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎等)

☒ 学生寮(寮の名前: Iglu Yura Mudang) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可) ※秋学期はトイレとバスは非共有

4) 住居を探した方法:

春学期: UT Soff campus database

秋学期: Yura Mudang (UTS の寮)

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私は各学期ごとに違う場所に住んでいましたが、両方とも個室でキッチンとリビングを共有する 6 人男女共用のアパートでした。最初の学期は Iglu という民間の学生寮に住んでいましたが、トイレとシャワールームは自室内にあり、設備は比較的新しく綺麗でした。立地も Redfern という場所で、大学から歩いて 15 分ほどで良好でしたが、家賃が週 5 万円ほどで高価であったため、次の学期からは比較的安価な大学の寮へ引っ越しました。立地がよく安価な分やはり古く、壁が薄くかなり他の部屋の物音が聞こえました。空調も悪く、クーラーがないため夏はとても暑いですが(ヒーターとシーリングファンはありました)

トイレとシャワールームも共用で、人によっては使い方があまりきれいではない場合もあるため、綺麗好きな方は同じ大学寮でも 1 人部屋(studio)の方がストレスはないと思います。設備はあまりよくない分、大学の寮なのでイベントはすごく充実していて、友達は本当にたくさん出来ます！

ルームメイトについては本当に人によります。最初の学期のルームメイトたちは比較的健康的な人が多く、かなり静かでした。しかし次の学期のルームメイトたちは社交的でパーティーも多く部屋で開催していて、夜遅くにまで及ぶこともあったため寝れないこともありました。なので、あまりそういったことが得意でない方も一人部屋の方が無理なく過ごせるかもしれせん。

私個人としては、家族以外の他人と、ましてや文化が異なる人と共同生活するのは初めてで、もちろん文化の違いを感じる戸惑うことも多々ありましたが、それも含めてやはりすごく貴重な経験でしたし、毎日顔を合わせていた分すごく仲良い友達になることもできて、シェアルームを選んだのはよい選択であったと思います。

現地情報

<p>1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。 (例: 現地の病院、学内の診療所)</p>
<p><input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所:)</p>
<p>2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)</p>
<p><input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等:)</p>
<p>3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?</p>
<p>現地の人に聞きました</p>
<p>4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)</p>
<p>大学の寮の Wi-Fi は遅かったですが、その他は特に困ることはありませんでした</p>
<p>5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)</p>
<p>現地の Common Wealth Bank で銀行口座を開設して、Wise を使用して親に送金してもらっていました。銀行口座を作るときにマイナンバーが必要です(写真でも可)</p>
<p>6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。</p>
<p>ダイソーや無印良品、アジアンスーパーがあるため基本何でも手に入ります! ただかなり割高です。。</p>
<p>7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。 (例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)</p>
<p></p>

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
44 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Self and Society	
科目設置学部・研究科	Faculty of Arts and Social Science
履修期間	秋学期
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー、チュートリアル (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 150 分が 1 回
担当教授	
授業内容	社会学
試験・課題等	レポート、インタビュー
感想を自由記入	性差別や人種差別などの社会的なテーマに関連したインタビューをする課題があったのですが、テーマ上ある程度年齢を重ねた人にインタビューをしなければならなかったもので、基本現地の学生たちはみんな祖父母にインタビューをしていました。私もなんとか日本にいる親にオンラインでインタビューをしましたが、トランスクリプトをすべて翻訳しなければいけなかったのが大変でした。しかし内容的には多民族国家であるオーストラリアならではの視点で社会学を学べたので面白かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Developing English Australian Workspace			
科目設置学部・研究科	Faculty of Arts and Social Science		
履修期間	秋学期		
単位数	6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	レクチャー、セミナー (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回		
担当教授	Sandla Laight		
授業内容	オーストラリアや他国の労働環境について。		
試験・課題等	レポート数回と、ペアでインタビューをしてプレゼンをしました		
感想を自由記入	交換留学生しかとれない授業なので英語は易しめです。少人数で 15 人ほど、アジア人とフランス人がいて半々くらいの割合でした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Aboriginal Sydney			
科目設置学部・研究科			
履修期間	秋学期		
単位数	8		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	レクチャー、チュートリアル (オンライン) (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回		
担当教授			
授業内容	シドニーにおけるアボリジニの歴史や文化について		
試験・課題等	レポート 3 回		
感想を自由記入	アボリジニについては必ず授業のどこかで触れられる必須の知識なので、これをとっておいて損はないと思います。他の授業に生きてきます。		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Developing English: Australian Natural Environment			
科目設置学部・研究科	Faculty of Arts and Social Science		
履修期間	春学期		
単位数	6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	レクチャー、セミナー (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回		
担当教授	Sandla Laight		
授業内容	オーストラリアの自然環境や動物について		
試験・課題等	レポート数回、プレゼン 1 回		
感想を自由記入	秋学期の労働の授業より内容がかなり専門的で踏み込んだものになるので、本当に興味があるわけではなかったら他の授業をとった方がいいかなと思う		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Strategic communication in society			
科目設置学部・研究科	Faculty of Arts and Social Science		
履修期間	春学期		
単位数	6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	レクチャー、チュートリアル (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回		
担当教授	Bhupesh Joshi		
授業内容	コミュニケーション、メディア、社会学について		
試験・課題等	最初の方は毎週、オーストラリアの国内の問題に関する課題が毎週あった。後は二回ほどレポートの課題があったが、いずれも国内における問題(主にアボリジニについて)だった。		
感想を自由記入	ディスカッションがかなり多かった。内容もほぼ国内における問題で、留学生も私ともう一人しかおらず、ついて行くのが大変だった。レポートでも必ず国内における問題としてアボリジニについて言及しないといけなかったのが難しかった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Creative Advertising		
科目設置学部・研究科	Faculty of Arts and Social Science	
履修期間		
単位数	6	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	レクチャー、チュートリアル (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Malcom Auld	
授業内容	広告について	
試験・課題等	グループで広告を作って発表する	
感想を自由記入	この授業はあまり内容が国内だけに傾いていなくて理解しやすかったし、留学生の割合も高かったです。コカコーラの広告をテーマに、オーストラリアを中心に世界各国のいろいろな広告を学びながら、最後はグループで広告やキャンペーンを打ち出して発表しました。グループ課題だったので、メンバーと連携を図るのが大変でしたが、とった授業の中で一番楽しかったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
News Now		
科目設置学部・研究科	Faculty of Arts and Social Science	
履修期間	春学期	
単位数	6	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	レクチャー、チュートリアル (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Steven	
授業内容	政治や時事、ニュースの書き方など	
試験・課題等	レポートを二回、最後にはシドニーに関するニュースを自分で作る	
感想を自由記入	割と本格的でジャーナリスト等を目指す子がとる授業らしかったが、ついて行くことは出来た。名前の通りニュース等メディアの話を多く出てくるため必然的に国内の事情の話になりやすいが、時事的なものが多くそこまで難しい話は多くありませんでした。最後の自分でニュースを作る課題が楽しかったです。	

卒業後の進路について

1) 進路※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

CFN

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

私はオンラインで説明会に参加する程度しかしていませんでしたが、シドニー在住の日本人留学生向けのキャリアイベント等がたくさんあるので、就活を頑張りたい方は是非チェックしてみてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月～3 月	
	4 月～7 月	IELTS 受験、出願
	8 月～9 月	
	10 月～12 月	保険やビザの申請、家探し
留学開始年	1 月～3 月	航空券購入、現地到着
	4 月～7 月	引っ越し
	8 月～9 月	
	10 月～12 月	帰国
留学/帰国年	1 月～3 月	
	4 月～7 月	
	8 月～9 月	
	10 月～12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私がオーストラリアを留学先として選んだのは、ニュージーランドに一年生の頃に 1 ヶ月間短期留学をして、南半球特有のゆったりとしたスローライフが私にはすごく合っていて、もっと長い期間過ごしてみたいと思ったからです。ニュージーランドには交換留学で行ける協定校がなかったので、隣国のオーストラリアを選んで、その中でも一年間という長期間過ごすことを考慮して、オーストラリア 1 の大都市であるシドニーを、その中でも中心部に位置するシドニー工科大学を選びました。結果的にこの国、都市、大学を選んだのは成功だったと思います。やはり多国籍国家のなかにある大都市というだけあってたくさんのバックグラウンドを持つ人々と出会うことが出来ました。行く前は誰も知らなかったし、友達が出来るかすごく不安でした。留学を考えているみなさんも同じような心配をされているかもしれませんが、大丈夫です！意外となんとかかなります！本当に色々な国籍や文化を持つ人がいるので、絶対に合う人がいます！人種差別等も、アジア人がたくさんいるので基本的にはないです。寿司やラーメンなどの日本食はとても人気で、アニメやゲームなどの日本のカルチャーが好きな人も割といるので、日本人としてすごく過ごしやすいです。アニメは人気なものを見ておくと話題にもなります。日本食も、簡単なものを練習して振る舞うと喜んでももらえますし、いい交流になります。私は大学の寮のルームメイトたちにカレーを作って喜んでももらいました。他にも暇なときにはアニメと一緒に見たり、日本から持って行った Nintendo Switch でゲームをしたりしました。なので、海外や現地について知っておくのも大事ですが、それと同じくらい自国の文化について知っておくのも大事だということを実感しました。

オーストラリアはすごく過ごしやすかったのですが、強いてネガティブな面をあげると、家賃を始め本当に物価が高いです。それが原因で留学を悩んでいる方もいると思いますが、オーストラリアのいいところとして、学生ビザでもアルバイトができます！物価が高い分賃金も高いので、費用面が心配な方はアルバイトについても考えてみてもいいかもしれません。周りの日本人はほとんどみんな働いていましたし、私も友人に紹介してもらって何回かマーケットで働きました。

総合的に、私はオーストラリアにして本当によかったと思います。全てが楽しかったのですが、一番は寮生活が楽しかったです。文化の違いはもちろんあって大変なことも本当にたくさんありましたが、それ以上に楽しいこと、そして学びも多かったです。ルームメイトとトラブルが起きた場合はちゃんと自分の意見を失礼にならない範囲で正直に伝えることが大事です。頑張ってください！